

乙訓平和委員会ニュース

発行年月日 2023年10月5日 No.460 発行・乙訓平和委員会 編集責任者・米重節男
電話・FAX 075-932-3546 MAIL heiwaotokuni@gmail.com

丹後半島の米軍Xバンドレーダー基地のいまを見る

長岡京市の小原明大さん（長岡京市議）からレポートしてもらいました。

真夏の向日市議選で疲れ果てていたところに、子ども兵救済などに取り組むNGO代表の海水浴に行ってるSNS投稿を見て、「ああ、海で一日プカプカ浮いていたい」とツイートしたら、「海行きますよ」と応えてくれた人が！「京都平和委員会青年部」のMさんでした。そしてお盆前、丹後へ行ってきたのでした。

2014年に京都に初めてつくられた米軍基地を外から眺める。永井友昭市議（無所属）に説明いただきました。

「穴文殊さん」と親しまれる九品寺さんの左は自衛隊基地、奥と右は米軍基地。お寺だけは何とか残されたが、完全に基地に囲まれている。米軍が敷地外まで勝手に工事するので、抗議でやめさせたこともあったそうだ。

基地にあるのは「Xバンドレーダー」で、それを運用する軍人と軍属が詰めている。フェンスと鉄条網が張られている。

一部には電柵まであったが、サル対策とのこと。なお、自衛隊基地と米軍基地との境では、鉄条網は自衛隊基地に向けて張られている。永井さん「日本は下に見られている」と。



米軍基地からは、ずっと騒音がしている。発電機の音のようだ。当初は関電の電気がきておらず全て自家発電だったため、めちゃくちゃうるさく、地元の苦情が殺到したそうだ。基地稼働から4年目でやっと関電導入。しかしその後も何度も停電があり、そのたび発電機が稼働。復旧してもなかなか止めず、「うるさくて頭が痛い」などの悲鳴があがった。

レーダーの出力などは軍事機密だが、近くに来
(2頁につづく)



ただで気分が悪くなる人もいるほど。この間、北朝鮮が何度もミサイルを発射したが、この基地がどう役立ったかは地元には全然わからない。

米兵の犯罪が頻発

米軍の使う車は「Yナンバー」などがあり、日本の免許は要らない。事故を起こしてもまともに裁かれない。警察もまともに取り調べもしない。不平等な「日米地位協定」によるもの。

市民を巻き込む事故が何度も起きているが、「一切報告がない」「件数しか報告されない」「物損で報告された」などの有様で、さんざん申し入れるなかで少しずつ是正させてきたという状況だそうだ。

そもそも、市は米軍に直接尋ねる権限もない。防衛局を通さなければならない。

基地や原発の周辺1キロの土地の利用や取引を規制する「土地規制法」でどうなるのか。また、昨今の情勢を反映してか、「シェルター作ってくれへんか」と近くの住民から永井市議に相談があったそうだ。住民は、この基地が「標的」になることを知っている。

声をあげないと、米軍のいいなりに

永井市議は言う。「声をあげても変わらんとする人もいるが、さんざん声をあげてやっと認めさせたり、是正させたり。黙っていたらもっとひどいことになっていた」

本当にそうだ。ねばり強い運動の軌跡は「米軍基地建設を憂う宇川有志の会」のFacebookページをどうぞください。

<https://www.facebook.com/ureukai>

永井さんにお礼をのべ、その後は釣り組と泳ぎ組に分かれ、無事に海で浮かぶことができました。お世話いただいた平和委員会青年部、永井市議、ありがとうございました！



お寺の裏は米軍基地。鉄条網が張られている



基地反対の蕎麦屋さんの立てた看板が基地を睨んでいる

またまたお詫びと訂正

前号の発行日がまちがってしまいました。正しくは9月25日です。度重なる校正ミス、お詫びの上、訂正します。